

一般質問



尾野 議員

- 一、公共施設の耐震化について
二、児童館に係わる取り組みについて

質問

一、(1)文部科学省発表の公立小中学校の耐震化率は、九州7県の平均が78・4%、県平均が69・8%となっている。現在、市が策定している耐震化計画と耐震化率はどうなるか。

(2)文部科学省による補助率嵩上げは平成27年度までだが、期限内に完了するよう計画の見直しをする考えはないか。大きな財源を伴う事業であり市長の考えを伺いたい。

二、(1)3月定例会で児童館の役割と機能の維持を前提に建て替えについて質問し、議論をしたが、その後の児童館の取り組みについて、どのように進めているのかお尋ねしたい。
(2)答弁によると現児童館は取り壊しを検討されているようだが、今後児童館業務を続けていく中で、その代替施設の確保と運営方針はどうなるのか。将来的な児童館建設についてお尋ねしたい。

その他に不老山公園入口に係る市道高野線拡幅工事の進捗状況について、中央公園内や臨海グラウンド内の不必要な物件の撤去等について質問しました。

答弁

一、(1)市の計画は、平成19年7月17日に策定し、計画期間は平成20年度から平成29年度です。耐震化率は、本年度施工中の工事を含めると60%となります。

(2)教育施設の整備に関しては、安全安心な教育環境づくりとして平成27年度までの計画をもって取り組んでいきたい。

二、(1)現在の児童館は、老朽化が著しく安全性に問題があることから取り壊しをしたいと考えている。ただし、児童館の役割や必要性は十分に認識しており、替りの施設の確保を行った後に取り壊しは行いたい。
(2)来年4月1日より勤労青少年ホームを利用して児童館機能を維持する考えです。また、現在、志佐地区の放課後児童クラブ室の計画を進めております。児童館については、解体後の児童館跡地をどうするか、あるいは勤労青少年ホームで機能の継続が可能かどうか、今後、総合的な検討をしていかなければならないと思っています。

一般質問



下久保 議員

- 一、東部交流センターの周辺整備について
二、今福神社に通ずる跨線橋(里道)の機能維持を求める請願の採択後の取り扱いについて

質問

一、東部交流センターは、これから高齢者や障害者等を含む多くの人が集まってくる施設として周辺整備を図る必要があります。同施設前の市道整備や今福大川方面からの一方通行の解消等を行うべきです。

同施設は生涯学習課、市道については建設課が所管していますが、周辺整備のための協議はなされているのですか。

二、議会としてこの請願は里道機能の維持を求めるものであり、願意妥当ということで常任委員会と本会議において全員賛成で採択されました。今後どのような協議を行い、いつ頃までに方向性を出されるのか。また、同里道の先には、一般の方のお墓も建立されています。跨線橋を通ることができないためお墓に行くことも出来なくなっています。この現状をどのように解消されますか。

その他に学校現場での耳鼻科検診について、長崎県中学野球部新人戦開催について、県立松浦高校支援への取組について質問しました。

答弁

一、一方通行等の交通規制は県公安委員会の権限となっております。現在、市道今福浦線の部分的な一方通行の解除については、公安委員会との協議は行っておりません。解除をお願いするとすれば、安全面の確保を含めて、地域の皆さんのご意見を聞いて地域の総意として公安委員会と協議を進めていくことになります。

建設後の安全面についての協議はまだ行っておりませんので、これから進めてまいります。

二、請願の処理状況については、議会に報告することになっておりますが、採択されたということを受けてどのような対応ができるのか現在、庁内で検討しています。

市道から跨線橋への登り口に既に鳥居があることや利用者の方のほとんどが今福神社の参拝者であることから、専ら参道として利用されているために市としての対応は大変厳しいものがあります。お墓へお参りする道路でもあるとのことですので、どのような対応ができるのかということを検討する必要があると認識しています。